

学習シラバス

第2学年

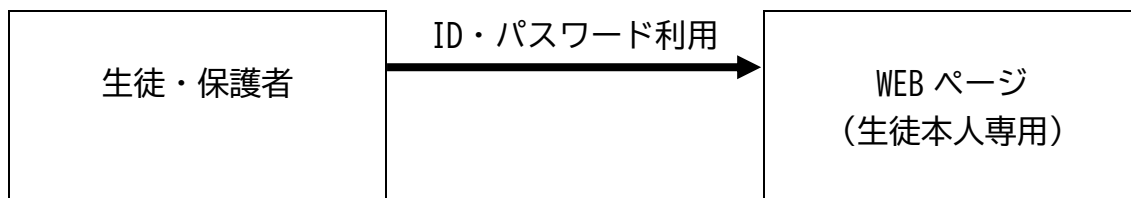


令和7年度

朝霞市立朝霞第一中学校

<テスト返却について>

教科やテストによっては、AI 自動採点システムによる自動採点を行っております。そのため、WEB 上での返却をする場合がございますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。



- ・ I D ・ パスワードは Microsoft アカウントを利用します。
- ・ パスワードは一人ひとり異なります。大文字・小文字・数字の4種類から生成されています。
- ・ 本人専用のページにアクセスし、答案を閲覧してください。

※パスワードは絶対に他人に教えないでください！

**※スキャン済みの解答用紙原本は、学校にて適切に処分
します。(生徒には返却しません)**

1 年生 国語の学習の進め方

評価の方法

3 つの観点を①, A, B, ②, C の 5 段階で評価します。ただし、通知表は A, B, C の 3 段階で通知されます。

① : 十分に満足できるもののうち特に程度が高い A : 十分満足できるもの

B : おおむね満足できるもの ② : 努力を要するもの C : 一層努力を要するもの

①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

②思考力、判断力、表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

③学びに向かう力、人間性等

ノート・ワーク等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗唱テストなどをもとに評価します。

1 学期の学習

- 詩「見えないだけ」○小説「アイスプラネット」○聞く「意見を聞き、整理して検討する」
- 話す聞く「魅力的な提案をしよう」○言語「単語をどう分ける？」○古文「枕草子」
- 報告「クマゼミ増加の原因を探る」○言語「熟語の構成」
- 話す「情報を整理して伝えよう」○短歌「短歌に親しむ」「短歌を味わう」
- 随筆「言葉の力」○言語「類義語・対義語・多義語」○書写（硬筆）
- 読む「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」
- 読書「読書を楽しむ」「翻訳作品を読み比べよう」

2 学期の学習

- 小説「ヒューマノイド」○随筆「字のない葉書」○言語「敬語」
- 書く「表現を工夫して書こう」「表現の効果を考える」
- 言語「同じ訓・同じ音をもつ漢字」○聞く「聞き上手になろう」

○論説「モアイは語る——地球の未来」○書く「適切な根拠を選んで書こう」
○詩「月夜の浜辺」○古文「平家物語」「扇の的——『平家物語』から」「仁和寺にある法師——『徒然草』から」○漢詩「漢詩の風景」○評論「君は『最後の晚餐』を知っているか」
○言語「走る。走らない。走ろうよ。」○話す聞く「立場を尊重して話し合おう」
○読書「『自分らしさ』を認め合う社会へ」○書き初め（毛筆）

3 学期の学習

○小説「走れメロス」○言語「一字違いで大違い」○書く「描写を工夫して書こう」
○話す聞く「国語の学びを振り返ろう」○言語「話し言葉と書き言葉」
○詩「鍵」○言語「送り仮名」

令和7年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	2 年	教 科 書	地 理（新しい地理）東京書籍 歴 史（新しい歴史）東京書籍 地図帳（中学校社会科地図）帝国	問題集 地理・歴史（新学社）
--------	-----	-------------	---	----------------

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。2年では、地理的分野の日本のさまざまな地域と歴史的分野の立憲制国家の成立までを学習します。

中学校社会科の教科としての目標は以下の5点です。

- ① 広い視野に立ち、社会に関する関心を高めること。
- ② 資料に基づいて多面的、多角的に考察すること。
- ③ 日本の国土と歴史について理解と愛情を深めること。
- ④ 公民としての基礎的教養を養うこと。
- ⑤ 国際社会を生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと。

3分野の学習を通して、これらの達成を目指していきます。

2 学習方法

社会科には各単元の目標があり、そこから各時間の学習のねらいや目標が設定されています。今日の授業のねらいは毎回板書し、確認しますので、意識しながら授業を受けましょう。そのねらいにせまるために、先生が講義するだけでなく、自分で考えたり、自分の考えを言ったり、友達と交流したりする場面に授業内に設定していきます。指示をよく聞き、今何をすべきなのかとらえて授業の流れについていきましょう。授業の終わりにはねらいに対するまとめができる状態になっていることが大切です。忘れ物をしたり、配布物をなくしたり、宿題忘れをしたりするとそれだけで全体の学習の動きに対応できなくなりますので気を付けましょう。また、休んでしまった場合は授業プリントをもらい、友だちに見せてもらって記入しておきましょう。

- ① 自分の理解状態をつかむこと。

学習する時に大切なことは、「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせることです。プリントやノートの余白に言葉の意味をメモしたり、教科書で調べたりして基礎的知識を確実にしていくことが大切です。

- ② 学習したことどうしの関係をつかむこと。

学習することは、バラバラな知識を詰め込むことだけではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。イメージマップを使って知識をつなげていく学習も効果的です。

- ③ 社会科に関心をもてるような工夫や環境づくりをすること。

テレビのニュース、新聞などにできるだけ関心をもち、家族と話をしたり、地図で確認したりしましょう。100円ショップでも世界地図や日本地図を売っているので、テレビの横に一枚常備（できれば掲示）しておくことをお勧めします。

3 家庭学習

社会科では予習にも復習にも力を入れてほしいと思います。

- ① まず自分が何をよくわかっていないのかを知ること。

・授業のプリントやノートを見返して、自分はどこをよく理解していないのかを確認する。わからない言葉（人物・出来事）はそのままにせず、教科書を読んで理解したり、家庭学習ノートに箇条書きでまとめたりする。図や表に書くのもよい方法です。

- ② 問題集を繰り返し解く。

・問題集を繰り返し解いて、問題や資料に慣れることが大切です。出題パターンを覚えることで、大事なところが自然と身につきます。

- ③ すぐに復習する習慣をつける。

・1回の授業の内容はそれほど多くはありません。その日のうちに学習したところを問題集で復習しましょう。1回目は家庭学習ノートにやり、テスト前には直接ワークに書きこんで理解することが大切です。

4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試験	評価観点	評価の場面・方法
4 5	オリエンテーション <地理> 1 地域調査の手法 2 日本の地域的特色と地域区分	中間試験	主体的に学習に取り組む態度 ○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。 ・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ・未到達な内容についてどれだけ努力できたか	・ワークシートへの記入状況 ・授業態度（発表等の積極性、忘れ物の状況） ・提出物の状況 ・学習課題への取り組み方
6 7	<歴史>【近世の日本】 1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	期末試験	思考・判断・表現 ○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。 ・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 ・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 ・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 ・思考を問う問題を解くことができたか。	・記述式テストの状況 ・レポート作成状況 ・グループワークの取り組み状況 ・自分の考えの発言、記入状況 ・提出物の状況
8 9	1 江戸幕府の成立と対外政策 2 産業の発達と幕府政治の動き			
9 10	<地理> 1 日本の諸地域	中間試験	思考・判断・表現 ○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。 ・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 ・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 ・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 ・思考を問う問題を解くことができたか。	・記述式テストの状況 ・レポート作成状況 ・グループワークの取り組み状況 ・自分の考えの発言、記入状況 ・提出物の状況
11		期末試験	知識・技能 ○我が国の国土と歴史など社会的事象に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・資料の活用の方法を身につけることができたか。 ・さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。	・資料を活用した各テストの状況 ・提出物の状況 ・ワークシートへの取り組み状況 ・授業内の学習課題への取り組み
12	<歴史>【開国と近代日本の歩み】 1 欧米における近代化の進展	学年末試験	知識・技能 ○我が国の国土と歴史など社会的事象に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・資料の活用の方法を身につけることができたか。 ・さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。	・資料を活用した各テストの状況 ・提出物の状況 ・ワークシートへの取り組み状況 ・授業内の学習課題への取り組み

1	2 欧米の進出と日本の開国	年 末 試	・調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。	・定期テスト
2	1 明治維新		・調査した内容を工夫してまとめることができたか。 ・資料を読みとる問題を解くことができたか。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。	・小テスト
3	1 日清・日露戦争と近代産業	次 年 度		

4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している

B→おおむね満足している

C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の 3 つの観点の A～C の組み合わせにより、「教科として 1～5 の評定がつけます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。

朝霞第一中学校 第2学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・ わからないことをわかって、努力を続ける生徒
- ・ 物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・ 思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 小テスト

- ・ 授業の初めの5分程度で、タブレットで、タブドリ・すららドリルを中心に計算問題に取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

② 単元テスト

- ・ 単元のまとめとして、単元テストを実施します。

③ ノートの取り方

- ・ ノートは授業の内容をまとめ、家庭学習で活用するものです。問題練習の答え合わせは、すばやく、確実にに行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいると、家庭学習ができず、力になりません。
- ・ 図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・ 教科書の参考例(マイノート)も見てください。

④ 話の聞き方

- ・ 先生の話で大事な点(特に重要な点や教科書にはない説明)は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・ 友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞かましょう。自分の考えが、より深くなります。

⑤ 教え合い

- ・ 自分たち同士での教え合いの時間では、答えを伝えるのではなく、なぜこのような考え方になるのかまたは計算方法を伝えられるようにしましょう。そうすることで、自分自身の理解も深まります。
- そして、積極的に人に説明することでより理解が深まるので、自ら進んで教え合いをしていきましょう。

2. 提出物について

① ワーク

- ・ スタンプカードと一緒に随時持ってきてください。学期末にスタンプカードを提出します。
- ・ ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。 粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】

- ・ 途中式を書くようにしましょう。
- ・ 筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・ 間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・ わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・ 計算スペースが足りない場合には、別紙をはさんでも構いません。

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点から評価します。

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、レポート等、総合的に判断します。私語・遅刻や居眠りなどの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・ノート提出・授業での発表等の取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに評価しています。

〔評定について〕

各評価の観点ごとの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

〔学年評定について〕

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価（A・B・C）と評定（5段階）を行います。

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」に基づいて評価します。

〔1年間の学習内容〕

1章 〔式の計算〕 文字式を使って説明しよう

・単項式と多項式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法と除法 ・式の値 ・式による説明 ・等式の変形

2章 〔連立方程式〕 方程式を利用して問題を解決しよう

・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・いろいろな連立方程式 ・連立方程式の利用

3章 〔1次関数〕 関数を利用して問題を解決しよう

・1次関数 ・1次関数の値の変化 ・1次関数のグラフ ・1次関数を求めること
・2元1次方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ ・1次関数とみなすこと ・1次関数のグラフの利用
・1次関数と図形

4章 〔平行と合同〕 図形の性質の調べ方を考えよう

・多角形の角の和の説明 ・平行線と角 ・合同な図形の性質と表し方 ・三角形の合同条件

- ・証明のすすめ方

5 章 〔三角形と四角形〕 図形の性質を見つけて証明しよう

- ・二等辺三角形の性質 ・二等辺三角形になるための条件 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質
- ・平行四辺形になるための条件 ・特別な平行四辺形 ・平行線と面積

6 章 〔確率〕 起こりやすさをとらえて説明しよう

- ・ことがらの起こりやすさ ・確率とその求め方 ・いろいろな確率 ・確率による説明

7 章 〔データの比較〕 データを比較して判断しよう

- ・四分位範囲と箱ひげ図

※つねに定規・コンパスは持っているようにしておくといいでしょう。

理科 2 学年 シラバス

1. 学習目標および年間計画

- (1) 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
- (2) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。
- (3) 生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらきを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
- (4) 身近な植物や動物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。
- (5) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
- (6) 気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。
- (7) 電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、電流、電流と磁界について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
- (8) 電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらき、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。

理科 II		理科 I	
月	項 目	月	項 目
4	単元 1 化学変化と原子・分子	4	単元 1 生物のからだのつくりとはたらき
5	1 章 物質のなり立ち	4	1 章 生物と細胞
6	2 章 物質どうしの化学変化	5	2 章 植物のからだのつくりとはたらき
7	3 章 酸素がかかわる化学変化	6	3 章 動物のからだのつくりとはたらき
9	4 章 化学変化と物質の質量	7	4 章 刺激と反応
10	5 章 化学変化とその利用	9	単元 4 電気の世界
11	単元 3 天気とその変化	10	1 章 静電気と電流
12	1 章 気象の観測	11	2 章 電流の性質
	2 章 雲のでき方と前線	12	3 章 電流と磁界
1	3 章 大気の動きと日本の天気	1	
2		2	

2. 評価の観点・方法

① 知識および技能

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的な内容について基礎的な知識を身につけ理解を深められたか、および観察・実験の基本操作の習得、観察・実験の方法についての評価項目です。

○定期テストや小テスト、器具の扱い方、観察・実験の手順、データの正確さ、実技テストなどから評価します。

② 思考力・判断力・表現力

☆自然に関する事象や現象について、科学的に筋道をたてて考え、実験の結果を推察したり、結果から規則性や仕組みなどを見だし、まとめ、表現する力についての評価項目です。

○観察・実験のレポートの内容や授業の発言内容、テストの記述内容・正答率、プリントの記入状況などから評価します。

③ 学びに向かう力

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的内容について興味・関心を持ち、積極的に調べたり考えようとする態度についての評価項目です。

○授業中の発言内容や授業への貢献度、集中度、ノートの記録状況(書き方、まとめ方)、観察や実験に取り組む態度、ワーク等の提出物から評価します。

以上の3観点の評価を総合し、5段階で評定します。

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」に基づいて評価します。
詳細は埼玉県教育委員会のホームページでも確認できます。

3. 2 学年理科の学習のしかた

① 理科の授業は自然現象の観察や実験が中心になります。積極的に実験器具や観察用具に触れ、興味・関心を高めながら授業に参加することが大切です。

② 実験・観察の目的を理解し、結果・考察までの見通しを持ち、予想を考えてから実験操作を行うことで、実験を深い学びにつなげましょう。

③ 実験の考察は班単位で話し合い、考えを深めたあと、必ず自分の言葉でかきましょう。

④ 授業中に配布されたプリント類は、なくさないようにノートにきれいに貼り付けましょう。理科1と理科2の授業用ノートは別々に用意してください。

⑤ 黒板に書いたことは必ずその時間にノートに記録しましょう。ただ黒板をうつすだけでなく、積極的にメモをとるようにすることがポイントです。

⑥ 授業の進度に合わせ、ワークを家庭学習として取り組みましょう。ワーク専用のノートを使って繰り返し問題を解くことがポイントです。間違った問題は、模範解答とよく照らし合わせて、正答の意味まで理解することが大切です。

音楽科	第2学年	1年間の学習内容とねらい
-----	------	--------------

音楽科の達成目標

- 音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする意欲を身につけさせる。
- 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などや、速度・強弱の働きを知覚し、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取る能力を身につけさせる。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、曲に対する自分の解釈やイメージを、音を通して適切に表現していくため発声や楽器の扱い、読譜力などの基本的な表現の技能を身につけさせる。
- 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素のはたらきによる効果、我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の特徴などを感じ取らせる。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】
- 知識・技能
 - 思考・判断・表現
 - 主体的に学習に取り組む態度

- 【評価の方法】
- 実技テスト(歌唱・器楽)
 - 実技テストのふりかえりカード
 - 鑑賞ワークシート
 - 自己評価・相互評価
 - 授業の取り組み
 - 定期テスト(年2回)

特色ある学習方法

- VTR等を利用した合唱の取り組み(合唱コンクールの映像等)
- ICTを利用し、視覚・聴覚ともによりよく活用できる学習

	学習内容	学習のねらい
一学期	○校歌 夢の世界を 翼をください 【歌唱】 ○フーガ ト短調 【鑑賞】 ○夏の思い出 【歌唱・鑑賞】 ○アルトリコーダー アニーローリー 【器楽】	○日本語の抑揚にあわせた旋律の美しさを感じ、3声に分かれたハーモニーを楽しみながら歌う。 ○曲にふさわしい発声法を学び、表現を工夫して歌う。 ○主題の繰り返しや変化に注目し、音楽の美しさ、パイプオルガンの響きを感じ取る。 ○歌詞の内容と曲想とのかかわり、曲の構成などの特徴を理解し、表現を工夫して合わせて歌う。 ○自然や情景を想像し、曲の背景や歴史を理解して鑑賞する。 ○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れる。
二学期	○合唱コンクールのクラス曲【歌唱】 ○アイーダ 【器楽・鑑賞】 ○my melody 【創作】	○声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫する。 ○声の音色、旋律、オーケストラと合唱の関わりと曲想との関わりに ○曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫する。 ○コードの雰囲気を生かし、工夫して旋律を作る。
三学期	○アルトリコーダー ラバースコンチェルト 【器楽】 ○歌舞伎「勧進帳」 【鑑賞】 ○学年合唱《群青》 【歌唱・鑑賞】	○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。 ○伝統的な邦楽に親しみ、声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、よさや美しさを味わう。 ○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きを生かして表現を工夫する。

令和7年度 美術科シラバス

・学校教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康につとめる生徒

・美術科目標

- ・作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動
- ・対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・楽しく美術を主体的に取り組む活動

・生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

・学習内容

A 表現	(1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能		(2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○	○	○

	1年	2年	3年
1学期	人の動きに着目し、しっかりと対象を観て動きの面白さを表現する作品を制作する。	身近なパッケージデザインについて学び、お菓子のパッケージを制作する。	自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマを踏まえ、自画像を制作する。
2学期	木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫り、カトラリーを制作する。 幾何学図形などの組み合わせ配色を工夫し、自分らしい模様をコースターに表す。	日本の伝統的な技法を活用し、想いのこもったお面を制作する。	仏像について学習し、ものに祈りや願いを込めることの意義について考え、仏像をプロデュースする。
3学期	文字の形の魅力を感じ取り、自分の名前を用いてレタリングを行う。	版の種類を学習し、シルク数リオンを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。	意図をもって技法を選択し組み合わせながら感謝の気持ちをポップアップカードで表現する。

・評価の方法

作品、制作活動の観察、作品制作の過程、活動の様子、鑑賞プリントの記録

・三つの達成目標の関わり

学力	制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。
規律ある態度	授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。

保健体育科学習案内

【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 3割以下⇒C

※観点別の内容について

◆知識及び技能

①授業内容やルール understanding

②技能テスト

③授業の観察（ゲームの様子等）

◆思考力、判断力、表現力等

①授業の観察（工夫した練習、課題を克服する練習選択、仲間へのアドバイス）

②学習カードの充実度

◆学びに向かう力、人間性等

①体育授業の参加状況（欠席や見学の回数）

②授業の観察（発言・行動・積極性）

③学習カードの内容

※評価は、総合点で算出する。

【1学期の学習内容】

	1年	2年	3年
4月～	・オリエンテーション ・新体力テスト ・体育祭練習 ・器械運動（マット運動・跳び箱） ・水泳		
5月～			
6月～			

保健

【2学期の学習内容】

	1年	2年	3年
9月～	・陸上競技（ハードル・走り幅跳び・走り高跳び） ・球技（ソフトボール・バレーボール・バドミントン） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス）		
10月			
11月～			
12月～			

保健

【3学期の学習内容】

	1年	2年	3年
1月～	・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス） ・球技（サッカー・バスケットボール）		
2月～			
3月～			

保健

【自主学習の仕方】

○昼休みの運動、部活動での運動、放課後の運動を通して体力強化を図る

○スポーツをテレビや現地で観戦し、関心を高める。

令和 7年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

2 学年

◆技術分野の目標◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

【学習内容】

技術分野は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の4つの領域で構成されています。各領域において、一人ひとりが学習できるように教材・教具を用意し、製図、製作、整備、操作などの実習を通して、実践的・体験的な学習活動を進めていきます。

◆3 年間の学習◆

- 1 年生 ガイダンス、生物育成に関する技術を利用した栽培、材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 合計 35 時間
- 2 年生 エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作、情報とコンピュータ 合計 35 時間
- 3 年生 プログラムによる計測・制御作品の設計・制作、情報セキュリティとモラル 合計 17.5 時間

【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、電気、コンピュータなどを取り扱って実習するため、安全に充分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。また、教科書、学習ノート、タブレット、その他指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

【評価の観点・方法・基準】 次の3つの観点で評価をします。

(1) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

2年生の後期で、生活の中でエネルギーがどのように役立っているか理解できるようにします。また、簡単な工具、はんだごてなどを使用して、エネルギーを変換して使用する「ものづくり」ができるようにします。さらに、身の回りの情報を扱う端末、コンピュータの仕組みについて学習します。

☆ 年間計画 ☆

月	章	学習内容	学習のねらい
10	ガイダンス	○ 2年生での学習を知る ・ 電気エネルギーの利用について ・ いろいろなエネルギーについて	・ 技術の授業に見通しを持つことができる ・ 電気エネルギーをどのように変換しているか知ることができる ・ 電気に興味を持たせる
11	エネルギー	○ 電気エネルギーの道筋 ・ 電気エネルギーを供給する道筋について ・ 電柱から屋内までの道筋 ・ 電気エネルギーを安全に使うには	・ 身近な電気エネルギーを知ることができる ・ 電気エネルギーを供給する道筋を理解できる ・ 電気エネルギーの利用について理解し、活用できる
12	Iを交換して	○ エネルギーの変換 ・ 電気エネルギーの変換について ・ 動力、光、熱、情報伝達のエネルギー変換について	・ 電気エネルギーを複数のエネルギーに変換できることを理解する ・ 変換したエネルギーを生活に役立つ製品に活用できる
I	用しよう	○ 簡単な電気製品の製作（LEDライト付きラジオの制作） ・ 半田付けの練習 ・ LEDライトの仕組みについて ・ ダイナモ・ソーラーでの発電について ・ 部品確認、組み立て ・ 回路計の使い方（動通試験、絶縁試験）	・ 道具を活用し適切に使用できる ・ はんだ付けが適切にできる ・ 回路計を正しく使い動通試験、絶縁試験を行うことができる ・ ライトのしくみについて理解できる ・ 発電したり、電気を蓄える方法を理解できる ・ 部品を確認でき、最後まで組み立てができる
2		○ 生活や社会と情報の技術 ・ 身の回りの情報を扱う端末 ○ 情報とコンピュータ ・ コンピュータの5つの機能 ・ コンピュータによる処理のしくみ	・ 身の回りには情報を扱うさまざまなコンピュータシステムがあることを理解できる。 ・ コンピュータの仕組みや、プログラミングの基本的なしくみを理解できる。
3			

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「知識・技能」

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については、実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより評価します。

②「思考・判断・表現」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「主体的に学習に取り組む態度」

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

時間	学習内容	学習のねらい
70 時 間	食生活と自立 ○食品の選択と保存 ・食品の選び方 ・食品の表示と保存 ・調理の計画 ・包丁を上手に使う ・肉、魚、野菜を調理しよう ・食生活の改善 ○地域の食材とその調理 ・地域の食材と食文化 ・行事食や郷土料理	・食品の表示やマークの意味を理解し、食品を適切に選択することができる。 ・食材の調理上の性質を理解し、安全に調理する技能を身につける。 ・食生活をよりよくするための工夫が考えられる。 ・日本の伝統料理や行事食について調べ、家庭で調理を実践することができる。
	住生活と自立 ○快適に住まう ・住まいのはたらき ・安全な住まい ・快適な住まい	・住まいのはたらきを知り、安全で快適な住まい方を工夫することができる。 ・汚れに応じた清掃と手入れ、用具や溶剤の安全な取り扱いを理解する。
	身近な消費生活と環境 ○家庭生活と消費 ・生活に必要なものの流れ ○商品の選択と購入 ・商品購入のプロセス ・販売方法と支払い方法 ・消費生活のトラブルを防ぐ ・消費者の権利と責任 ・消費者を支えるしくみ ○環境に配慮した生活 ○生活を豊かにする物をつくる ・布を用いたものの製作 ・環境への影響を考えた消費生活	・さまざまな情報の中から、信頼できる情報を見極め、かしこい消費者について考える。 ・契約の意味や、契約の解除についてなどの正しい知識を身につける。 ・環境に配慮した商品を選択することができる。 ・布を用いた物作りを通して生活を豊かにする工夫を考えることができる。 ・材料や用具を正しく使い、製作できる。

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。
 家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

令和7年度 朝霞第一中学校 2学年英語科学習案内

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
特色	話すこと〔やり取り〕の活動の軸として、ペアでの会話活動を毎時間実施する。題材は、教科書を活用する。

①領域ごとの達成目標

Unit	U	Stage Activity ...	SA
Let's Listen ...	LL	Let's Talk	LT
Let's Read	LR	Let's Write	LW

Stage	聞く	読む	話す〔やり取り〕	話す〔発表〕	書く
1	クラスメートの予定や将来の夢などについての短いスピーチなどを聞いて、主な情報を聞き取ることができる。 U1, LL2, U3, SA1	クラスメートの予定や将来の夢など日常的话题について書かれたつながりのある文章を読んで、主な情報を読み取ることができる。 U3, SA1, LR1	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて、たずねたり答えたりすることができる。 U1, LT2, U3	自分の予定や将来の夢などについて、意見や理由を加えて発表することができる。 U1, U3, SA1	クラスメートの予定や将来の夢などについての短いスピーチなどを聞いて、主な情報を聞き取りまとめることができる。 U1, LL2, U3, SA1
2	日本と外国の食文化と歴史についてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL5, SA2	クラスメートの好きな食べ物とその理由を聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 U5, SA2, LR2	自分が気になるご当地グルメについて、クラスメートにその理由を具体的に紹介できる。 U6, LT3, LT4, SA2	食文化の歴史と変化について感じたことを、自分の考えなどを整理して発表することができる。 U6, SA2	ALTの先生に日本の魅力ある食文化を紹介するような文を書くことができる。 LL5, SA2
3	世界遺産の特徴やつ抱える問題についてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL7, SA3	クラスメートの世界遺産についてのまとまりのある文などを読んで、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 U7, SA3, LR3	自分やクラスメートが知っている世界遺産の情報について、たずねたり答えたりすることができる。 U7, SA3	自分のおすすめの世界遺産などについて、自分の意見や理由を加えて発表することができる。 U7, SA3	世界遺産についてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえながら感想を書くことができる。 LL7, SA3
学年末	はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要をとらえることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。(～350語程度)	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要をとらえることができる。

②単元の授業計画

4月	授業開き Unit 0 My Spring Vacation	クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。 おたがいの予定を知るために、相手の予定について書かれた文章を理解したり、自分の予定を伝えたりすることができる。
----	-----------------------------------	---

	Unit 1 What can we experience on a trip? Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	これからの予測やおたがいの意志を伝え合うために、相手がその場で判断したことを理解したり、自分の判断を即興で伝えたりすることができる。 旅行の思い出を伝え合うために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えたり、ある場所についての情報を伝える文章を書いたりすることができる。 旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えることができる。 留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。
5月	Real life English 1 機内放送 Grammar for Communication 1 中間テスト Unit 2 What is local food? Real Life English 2 Grammar for Communication 2	機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。 どんなときに何をするかを伝え合うために、普段していることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。 ある条件のもとですることを伝え合うために、したいと思っていることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。 さまざまな料理について理解を深めたり、知っていることを伝えたりするために、料理について書かれた文章から事実や考え、理由などを読み取ったり、自分から伝えたりすることができる。 料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりすることができる。 ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。
6月	Unit 3 What kind of job are you interested in? Real Life English 3 仕事についてのインタビュー Learning Technology in English 技術・家庭(技術)	おたがいのことをよりよく知るために、動作や行為について、それをする目的を理解したり伝えたりすることができる。 おたがいの感情や気持ちを知るために、うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因について理解したり伝えたりすることができる。 読み聞かせの際によりよく伝えるために、文章に込められたメッセージを理解し、聞き手のことを考えて、そのメッセージを伝える音読をすることができる。 自分の将来像や夢について考えるために、大切なことやする必要のあることなどについて、文章から理解したり伝えたりすることができる。 将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文

	Grammar for Communication 3	を用いて書くことができる。 インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。
7月	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks 期末テスト	ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
8月・9月	Unit 4 What is important in a homestay? Real Life English 4 ホームステイのお礼状 Grammar for Communication 4	海外でのホームステイをよりよいものにするために、する必要があることやないことについて理解したり伝えたりすることができる。 海外でのホームステイをするために、しなければならないことやしてはいけないことについて理解したり伝えたりすることができる。 海外でのホームステイをよりよいものにするために、ホームステイで起こる問題について書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを書いたりすることができる。 日本と海外の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
10月	Unit 5 What design is good for everyone? Real Life English 5 アナウンス・案内	どのようにしたらよいかを知ったり説明したりするために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。 どのようにしたらよいかを相手に説明するために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインの意義について書かれた文章の要点を読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりすることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインを生み出した人物の功績について書かれた文章の概要を捉えることができる。

	Learning Social Studies in English 社会	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。 展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 持続可能な社会について考えるために、SDGs の目標について理解し、取り組んでいきたいことを考えることができる。
11 月	Unit 6 How can we make a good presentation? Real Life English 6 Grammar for Communication 5 Stage Activity 2 My School and School Life	身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実を理解したり伝えたりすることができる。 身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実や感想などを理解したり伝えたりすることができる。 調査の結果について理解したり伝え合ったりするために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、調査の結果について感想を述べたりすることができる。 調査や発表の効果的な方法について考えるために、発表の内容について評価する文章の概要を捉えたり、アドバイスをしたりすることができる。 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。
12 月	Let's Read 2 A Glass of Milk 期末テスト	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。
1 月	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、事実を説明したりすることができる。 世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、対話の概要を捉えたり、相手に質問したり答えたりすることができる。 世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、世界遺産などについて説明したりすることができる。 世界遺産の現状について知りこれからのことについて考えるために、世界遺産が抱える問題について書かれた文章の概要を捉えたり、説明したりすることができる。

		日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
2月	Real Life English 7 買い物 Grammar for Communication 6 Stage Activity 3 Let's Have a Discussion 学年末テスト	自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるすることができる。
3月	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

③観点別評価規準と評価方法(＊)

	聞く	読む	話す【やり取り】	話す【発表】	書く
知識・技能	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動	単語や文章を正しく読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動	習った単語や知っている単語を使って、相手との会話を成立させようとしている。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	絵や図を用いて簡単な英語で説明することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	アルファベットや英単語、英文を書く際のルールを理解し、正しく運用できる。 ＊単語テスト ＊定期テスト ＊授業内での活動
思考・判断・表現	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動	資料や文章を読み取り、それに関する質問に適切に答えることができる。＊定期テスト	問いかけに対し、適切に応答ができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	課題について、簡単な英語で発表することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	課題について、つながりのある文章を書くことができる。 ＊単元テスト ＊定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	相手の話にうなずいたり、相づちを打ったりしながら、積極的に聞く姿勢が見られる。 ＊授業内での活動	間違いを恐れず、しっかりと声を出して単語や文章を読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動 ＊スピーチテスト	AETやJTEと積極的に会話しようとしている。 ペアやグループでの活動に積極的に参加している。 ＊授業内での活動	間違いを恐れず、積極的に発言・発表しようとしている。 ＊授業内での活動	授業内で行われた課題に真剣に取り組む、期限を守って提出している。 習ったことを積極的に活用し、たくさん単語や文を書いている。 ＊ワークシート ＊提出物

観点別評価の評価規準

A : 85～100％達成(十分満足できると判断されるもの)

B : 50～84％達成(ほぼ満足できると判断されるもの)

C : 49％以下(努力を要すると判断されるもの)

＊達成率は、目安です。テストの平均点や問題のバランスにより多少変化します。

観点別評価と評定の対応関係 各4つの観点の合計から評定を算出します。

《評価の例》 ㊤を5点, Aを4点, Bを3点, ㊤を2点, Cを1点に換算する

㊤㊤㊤, ㊤㊤A (15,14点) → 5 *達成度90%程度

㊤AA, AAA, AAB 等 (11~13点) → 4 *達成度80%程度

ABB, BBB, BB㊤ (8~10点) → 3 *達成度50%程度

B㊤㊤, ㊤㊤㊤, ㊤㊤C (5~7点) → 2 *達成度40%程度

㊤㊤C, CCC (3,4点) → 1 *達成度20%程度

④家庭学習のしかた

《聞く》

・単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。教科書のQRコードを読み取ってみよう。

①音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみると、慣れてきたら方法を変えてみよう。

同じものを覚えるまで繰り返し聞いてみよう。

《読む》

・音読は、正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら、たくさん口を動かして、身体に英語をしみこませよう。タブレットを活用して、音読テストも行います。

《話す》

・英語の勉強は真似をるところから。授業で覚えた英文を、先生の真似をしながら口に出してみよう。

・AETの先生に積極的に話しかけてみよう。

《書く》

・正しいスペルを覚えるには、口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら、家庭学習ノートに書いてみよう。その時に、青いペンを使うと集中力が増すとされています。見本を見なくても書けるようになるまで、繰り返し練習しよう。